



さりげない安心と感動する制動を

2015年3月期 上期 決算説明会資料

2014年11月7日
曙ブレーキ工業株式会社

2015年3月期 上期 実績

2015年3月期上期：サマリー

前期同期と比べ増収、営業利益も増益。減損などあり純利益は微減

市場環境

- 日本：消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響が大きく、新車販売は普通車・軽自動車ともに対前年同期比で減少。
- 北米：年初寒波の影響があったが、経済状況が改善していることに加え、低金利を反映した自動車ローンの拡充効果などもあり、自動車販売が前年同期比増加。
- 欧州：一部地域で大衆車の需要が回復したことなどにより、前年同期比で販売は増加。
- 中国：自動車販売・生産ともに伸び率は鈍化したものの、安定した成長基調を保持。
- タイ：昨年自動車購入支援策終了後の反動と、長引く政局混乱の影響で国内販売が低迷。
- インドネシア：低価格多目的車(LMPV)やローコストグリーンカー(LCGC)の販売が牽引し、販売台数が順調に推移。

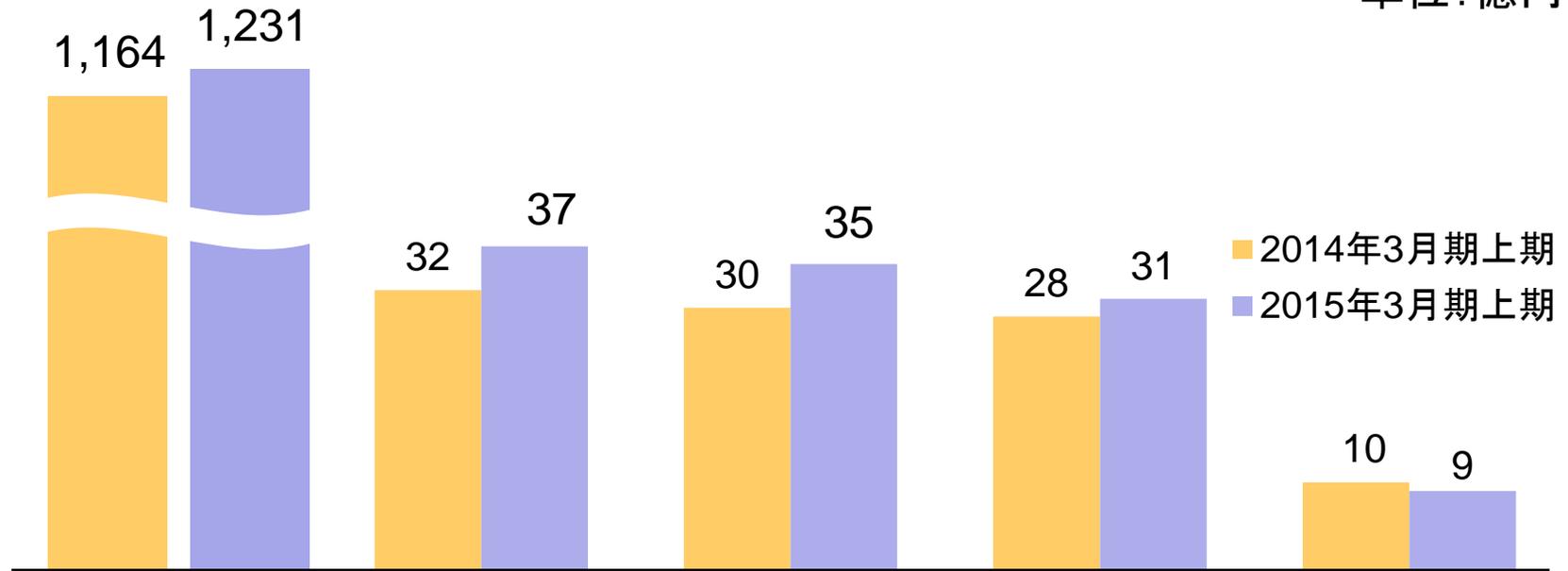
連結業績

売上高1,231億円、営業利益37億円と前年同期比で増収増益。当期純利益は曙ブレーキ山陽製造(株)の完全子会社化に伴う減損損失計上や繰延税金資産取り崩したことにより9億円と前年同期比微減。

2015年3月期上期: 連結業績(対前年同期)

営業利益は5億円の増益。純利益は減損等の計上で、0.4億円の減益

単位: 億円



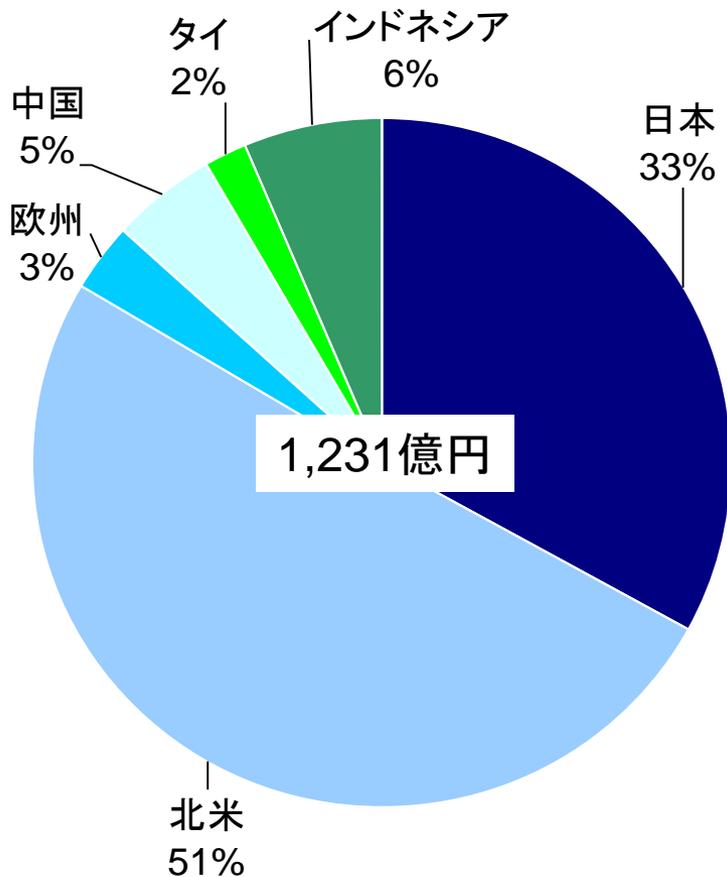
	売上高	営業利益	経常利益	税引前 当期純利益	当期 純利益
前年差	+67	+5	+5	+3	△0.4
前年比	+6%	+16%	+17%	+10%	-

2015年3月期上期: 売上高 [地域別]

タイを除き、海外売上が拡大。日本の売上は減少

<2015年3月期上期実績>

単位:億円

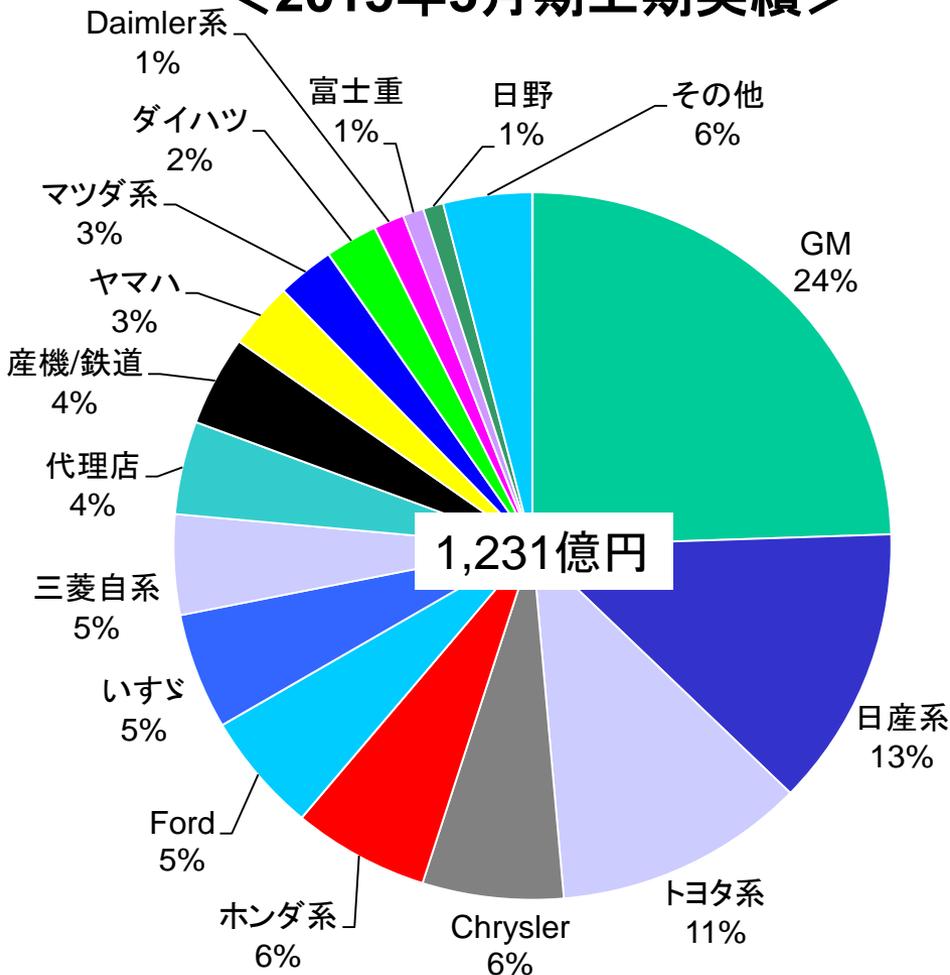


	14年 3月期 上期	15年 3月期 上期	差	為替 換算 影響
日本	446	434	△12	—
北米	603	664	+60	+41
欧州	31	42	+11	+3
中国	41	64	+23	+4
タイ	35	26	△9	△1
インドネシア	80	84	+4	△10
アジア計	156	174	+18	△7
小計	1,236	1,314	+77	+37
連結消去	△73	△83	△10	—
合計	1,164	1,231	+67	+37

2015年3月期上期: 売上高 [お客様別]

GM、日産、トヨタが上位を占める。前年とほぼ変わらぬシェア

＜2015年3月期上期実績＞



	14年 3月期上期	15年 3月期上期
GM	25%	24%
日産系	13%	13%
トヨタ系	12%	11%
Chrysler	7%	6%
ホンダ系	6%	6%
Ford	5%	5%
いすゞ	5%	5%
三菱自	4%	5%
代理店	4%	4%
産機/鉄道	4%	4%
その他	15%	17%
合計	100%	100%

2015年3月期上期：地域別の状況（対前年同期）

日本と中国の収益拡大により、対前年で営業利益5億円の増益

単位:億円	売上高			
	'14/3上期	'15/3上期	差	為替
日本	446	434	△ 12	-
北米	603	664	60	41
欧州	31	42	11	3
中国	41	64	23	4
タイ	35	26	△ 9	△ 1
インドネシア	80	84	4	△ 10
アジア	156	174	18	△ 7
連結消去	△ 73	△ 83	△ 10	-
合計	1,164	1,231	67	37

営業利益			
'14/3上期	'15/3上期	差	為替
13	16	3	-
3	1	△ 2	0
△ 3	△ 2	1	0
4	8	4	1
3	1	△ 2	△ 0
11	11	0	△ 1
18	21	2	△ 1
1	2	0	-
32	37	5	△ 1

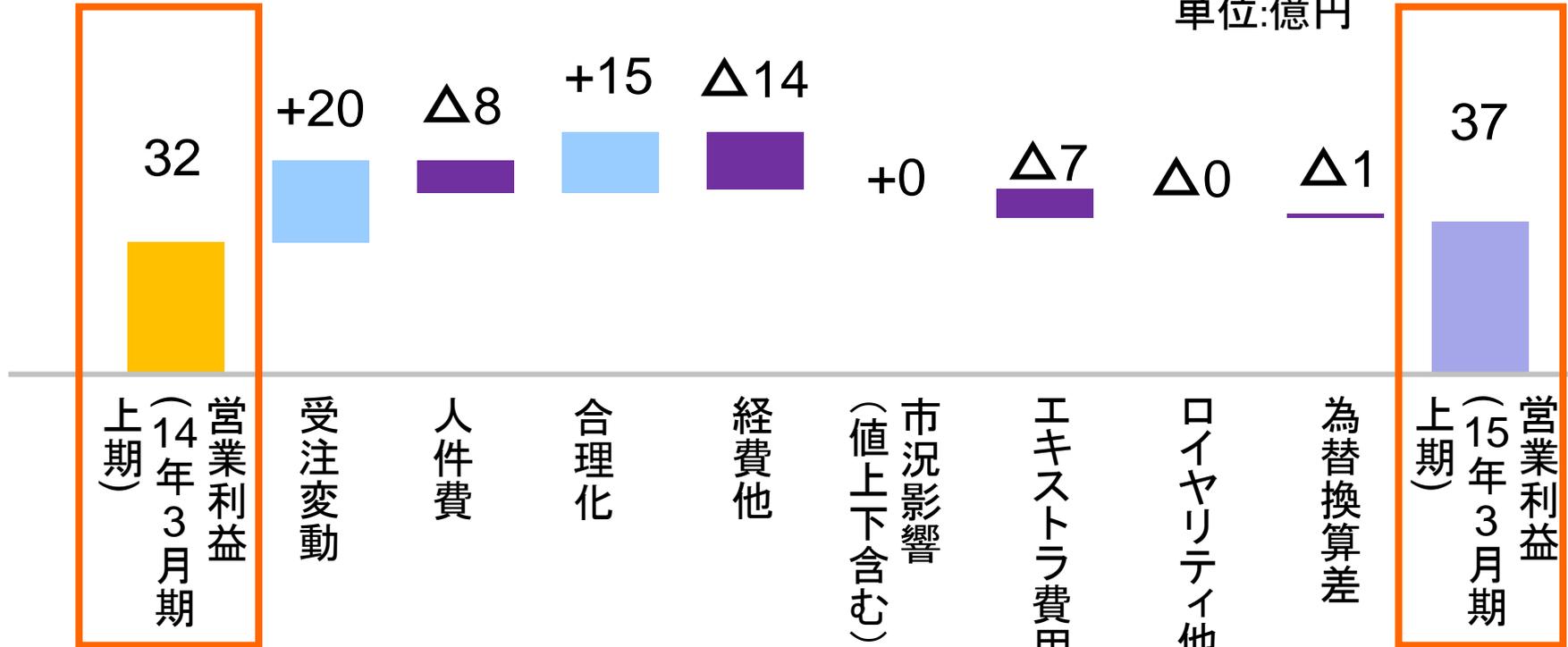
為替 USD: 95.9→102.2、EUR: 130.1→138.6、CNY: 15.5→16.6、THB: 3.2→3.1、IDR: 0.0099→0.0088

- 日本:** 完成車メーカーの海外生産移管の影響により減収。海外からのロイヤリティー収入の増加や生産・調達合理化効果により増益。
- 北米:** 不採算製品から収益性のある製品へ転換が進んだが、米系完成車メーカーからの受注が想定を超え生産ラインの高負荷による労務費増加などエキストラコストの発生などにより減益。
- 欧州:** グローバルプラットフォームのビジネス開始により増収。販売価格見直しが進んだことにより増益。
- 中国:** 新規ビジネスの追加に既存受注の拡大と為替影響で、売上・利益ともに増大。
- タイ:** 国内販売の低迷が長引き減収。基幹部品内製化を行ったが、売上減少影響が大きく、減益。
- インドネシア:** 4輪車向け受注が伸び増収。売上増の影響や労務費高騰分の販価への一部転嫁で利益は維持。

2015年3月期上期: 営業利益増減分析(対前年同期差)

米国は過度な生産負荷によるコスト増加で前年並みの営業利益

単位:億円

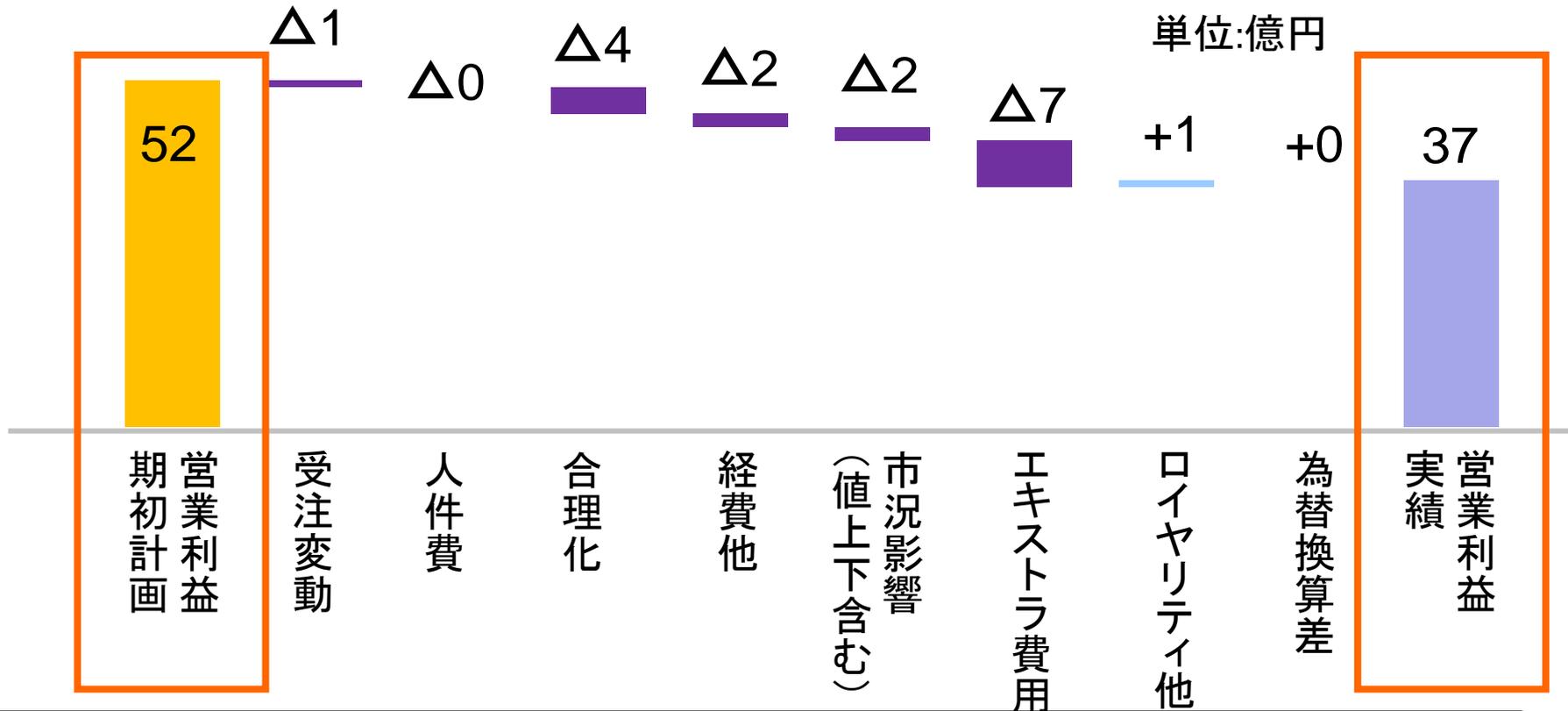


日本	13	△ 9	△ 2	+ 10	△ 1	△ 2		+ 7		16
米国	3	+ 22	△ 1	+ 1	△ 8	△ 0	△ 7	△ 5	+ 0	3
メキシコ	0	+ 0	△ 1	+ 0	△ 2			△ 0		△ 2
欧州	△ 3	△ 1	△ 0	+ 0	+ 0	+ 1		+ 0	△ 0	△ 2
アジア	18	+ 6	△ 3	+ 4	△ 3	+ 1		△ 2	△ 1	21
連結消去	1	+ 1								2

※エキストラ費用:米国(ABE Plant)生産負荷過重による経費増:人件費△5、修繕費△1、輸送費△0.5、スクラップ△0.5

2015年3月期上期: 営業利益増減分析(対期初計画差)

米国は過度な生産負荷によるコスト増加で計画未達



日本	19	Δ 1		Δ 1	+ 1	Δ 1		Δ 1		16
米国	13	+ 2		Δ 2	Δ 4	Δ 2	Δ 7	+ 3	+ 0	3
メキシコ	Δ 1	Δ 1	Δ 1		+ 0				Δ 0	Δ 2
欧州	Δ 1	Δ 2	+ 1	Δ 1	+ 1	Δ 0			+ 0	Δ 2
アジア	21	0	Δ 0	Δ 1	+ 0	+ 1			Δ 0	21
連結消去	1	+ 1								2

※エキストラ費用: 米国 (ABE Plant) 生産負荷過重による経費増: 人件費 Δ5、修繕費 Δ1、輸送費 Δ0.5、スクラップ Δ0.5

2015年3月期上期：研究開発費、設備投資/償却費

研究開発費は計画どおり。設備投資は60%の進捗

研究開発費

単位：億円

	14年3月期 上期実績	15年3月期 上期実績	15年3月期 通期計画
研究開発費	54	57	104

※製品の適用開発に関連する費用も含めております。

15年3月期上期 先行開発案件

- ・HP/HE用ブレーキ
- ・環境対応型摩擦材(銅フリー)
- ・3点セット(モジュール)

設備投資・償却費

単位：億円

	14年3月期 上期実績	15年3月期 上期実績	15年3月期 通期計画
設備投資	96	104	170
償却費	43	49	100

15年3月期上期 主要投資案件

- ・次期モデルおよび増産対応
- ・HP用ブレーキ設備
- ・次世代摩擦材製造設備
- ・欧州新工場(スロバキア)
- ・メキシコブレーキ設備

2015年3月期上期: 営業利益から純利益まで

経常利益35億円、税前利益31億円、当期純利益9億円

単位: 億円

前年同期

主な勘定

営業利益

32

営業外収支 $\Delta 2$

支払利息 $\Delta 6$
為替差益 $+3$
受取配当金ほか $+1$

経常利益

30

特別損益 $\Delta 2$

固定資産売却却損 $\Delta 2$

税前当期純利益

28

法人税等 $\Delta 10$
少数株主利益 $\Delta 8$

当期純利益

10

当期

主な勘定

営業利益

37

営業外収支 $\Delta 2$

支払利息 $\Delta 5$
為替差益 $+2$
受取配当金ほか $+1$

経常利益

35

特別損益 $\Delta 4$

固定資産減損損失
および売却却損 $\Delta 4$

税前当期純利益

31

法人税等 $\Delta 15$
少数株主利益 $\Delta 6$

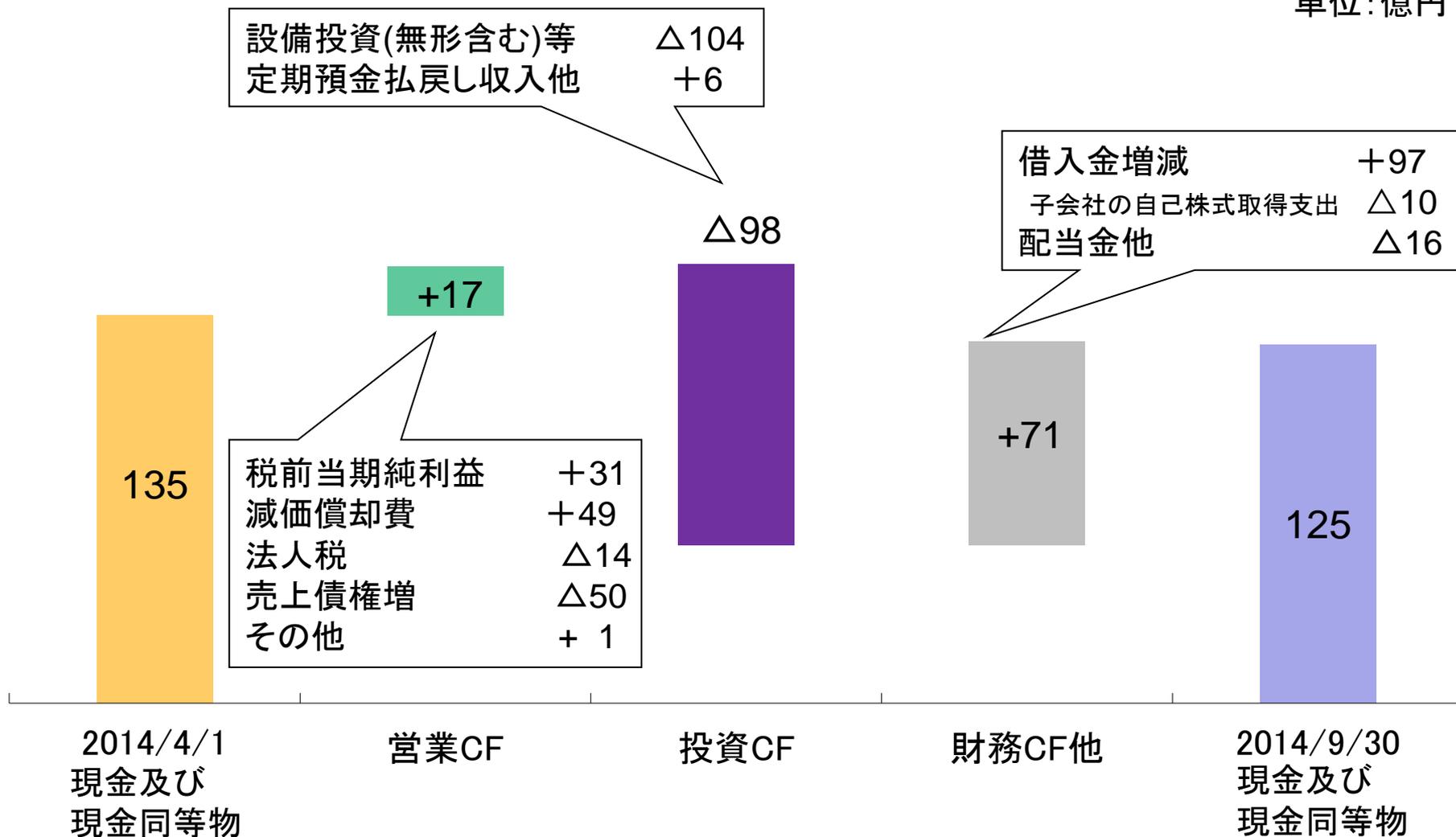
当期純利益

9

2015年3月期上期: キャッシュ・フロー

営業キャッシュフローが伸びず、フリーキャッシュフローは赤字

単位: 億円



2015年3月期 通期業績予想

2015年3月期: 通期・業績予想修正(2014/10/30発表)

営業利益60億円(対期初計画△50億円)当期純利益6億円(同△34億円)

単位:億円	期初計画			業績修正			差異		
	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期
売上高	2,430	1,220	1,210	2,514	1,231	1,283	84	11	73
営業利益	110	52	58	60	37	23	△ 50	△ 15	△ 35
経常利益	95	45	50	56	34	22	△ 39	△ 11	△ 29
税前利益	85	42	43	48	30	18	△ 37	△ 12	△ 25
当期純利益	40	20	20	6	9	△ 3	△ 34	△ 11	△ 23

3Q以降、北米で完成車メーカーによる増産と新規受注製品立上げが集中した為、労務費と緊急輸送費中心に対策費用が膨れ上がった為、北米が営業赤字。連結ベースとして通期業績を下方修正。

2015年3月期：地域別の業績予想（対期初計画差）

米国が営業損失計上の見込みにより、期初計画差△50億円

単位:億円	売上高			
	期初計画	今回予想	差	為替
日本	867	866	△ 1	-
米国	1,252	1,351	99	62
メキシコ	8	4	△ 4	0
欧州	103	95	△ 8	△ 1
中国	139	144	5	5
タイ	57	54	△ 3	2
インドネシア	171	166	△ 5	△ 2
アジア	367	364	△ 3	6
連結消去	△ 167	△ 166	1	-
合計	2,430	2,514	84	67

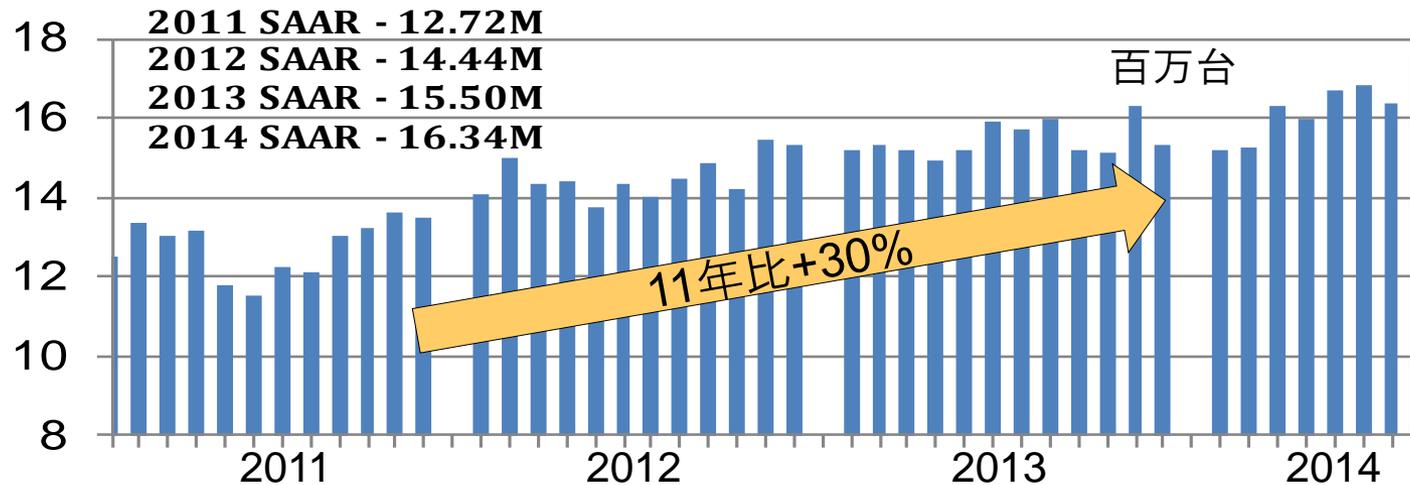
営業利益			
期初計画	今回予想	差	為替
45	44	△ 1	-
24	△ 16	△ 40	△ 1
△ 3	△ 5	△ 2	0
△ 2	△ 6	△ 4	0
14	17	3	1
4	3	△ 1	0
26	21	△ 5	△ 0
44	41	△ 3	1
2	2	0	-
110	60	△ 50	△ 0

為替 USD: 100→104.8、EUR: 140→138.7、CNY: 16.4→17.0、THB: 3.1→3.2、IDR: 0.0090→0.0089

- 日本:** 上期は受注減少やエネルギーコスト増等により予想を下回ったが、下期は期初計画どおりの見込み。
- 米国:** ABE PlantIにおいて、ディスクブレーキ生産ラインの高負荷と生産性悪化に起因したコストが増加、期初計画を大幅に下回り、営業損失計上の見込み。
- メキシコ:** 予定生産量に達せず、売上が減少したことにより、営業損失が拡大する見込み。
- 欧州:** スロバキア工場の立上げ準備、新規プロジェクトの費用等がかさみ、営業損失が拡大する見込み。
- 中国:** 新規ビジネス含む受注の拡大の影響により、期初計画を上回る見込み。
- タイ:** 政情不安の継続による国内販売の低迷が響き、期初計画を下回る見込み。
- インドネシア:** 完成車メーカーの在庫調整により計画より受注減少、原材料市況高騰により期初計画を下回る見込み

2015年3月期: 米国市場環境と見通し(対期初計画差)

ABEは営業利益ベースで期初計画から△44億円の落ち込み



単位: 億円	米国全体			ABE			その他工場		
	期初計画	今回予想	差異	期初計画	今回予想	差異	期初計画	今回予想	差異
売上	1,252	1,351	99	423	470	47	829	881	52
売上総利益	90	47	△ 43	28	△ 13	△ 41	62	59	△ 3
営業利益	24	△ 16	△ 40	6	△ 38	△ 44	18	22	4

生産・開発拠点 - 米国

4工場 + 1研究開発センター



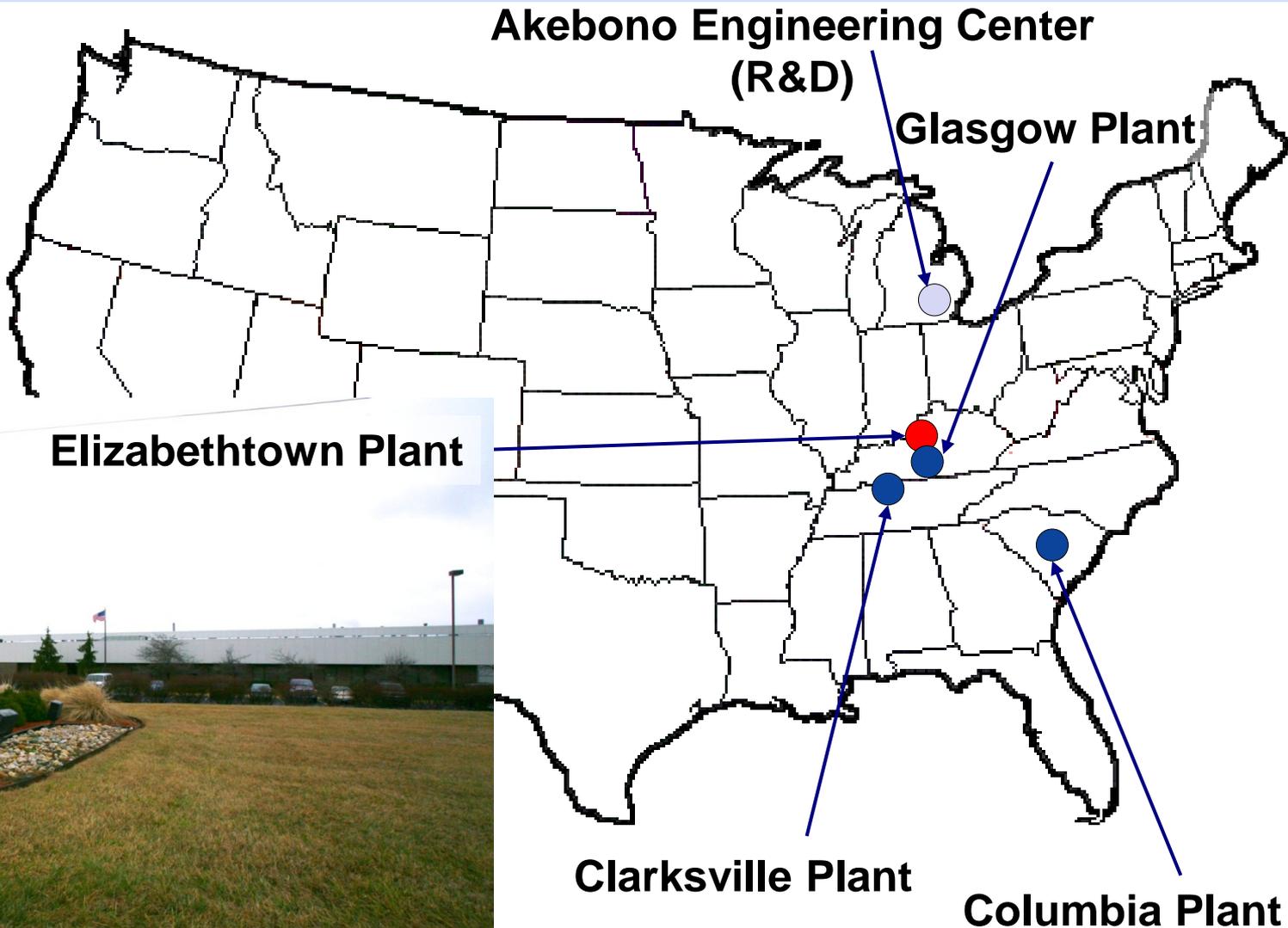
ディスクブレーキ



ドラムブレーキ

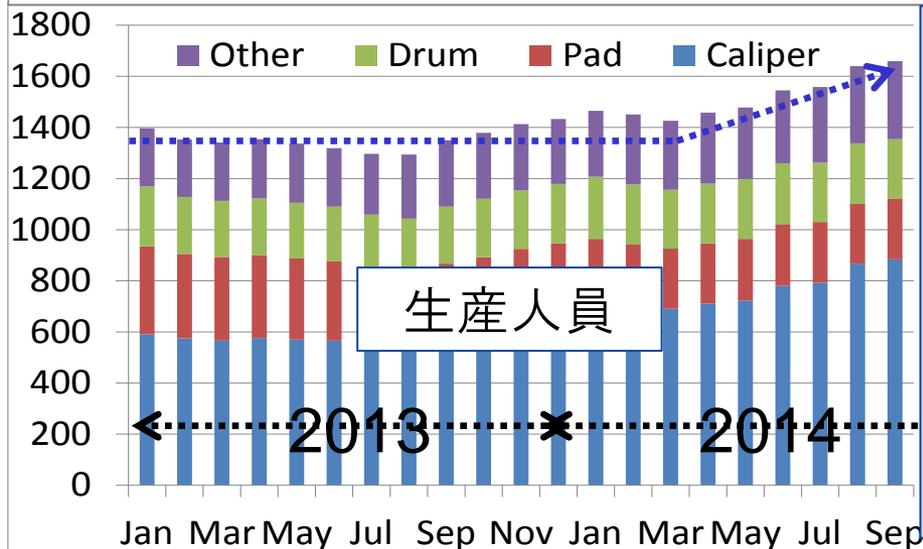
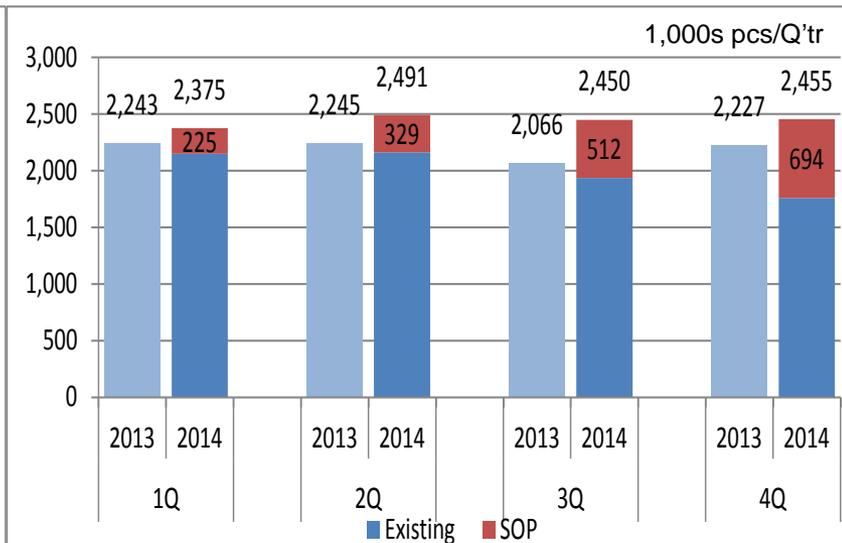
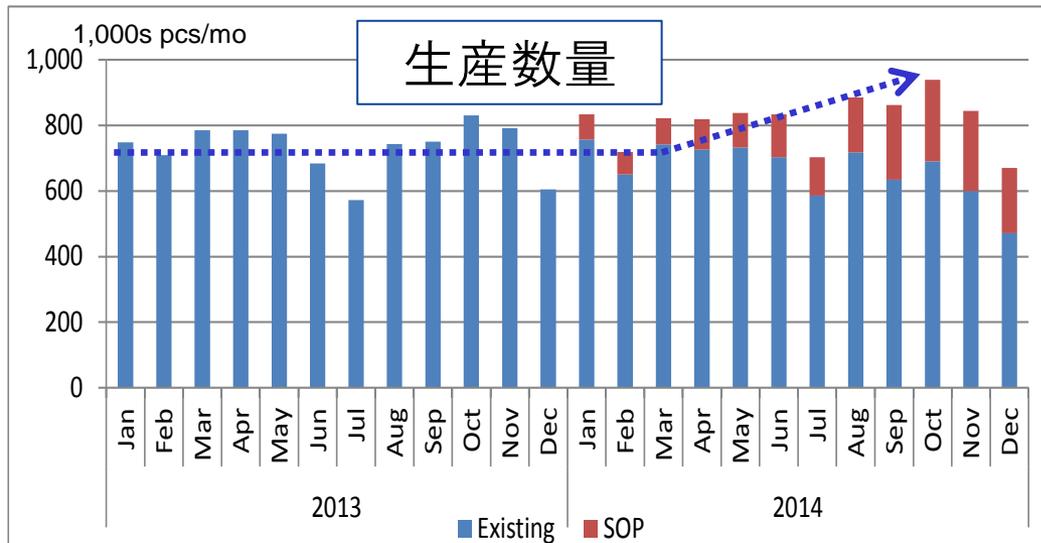


ディスクブレーキパッド



ABE キャリパー生産と人員推移

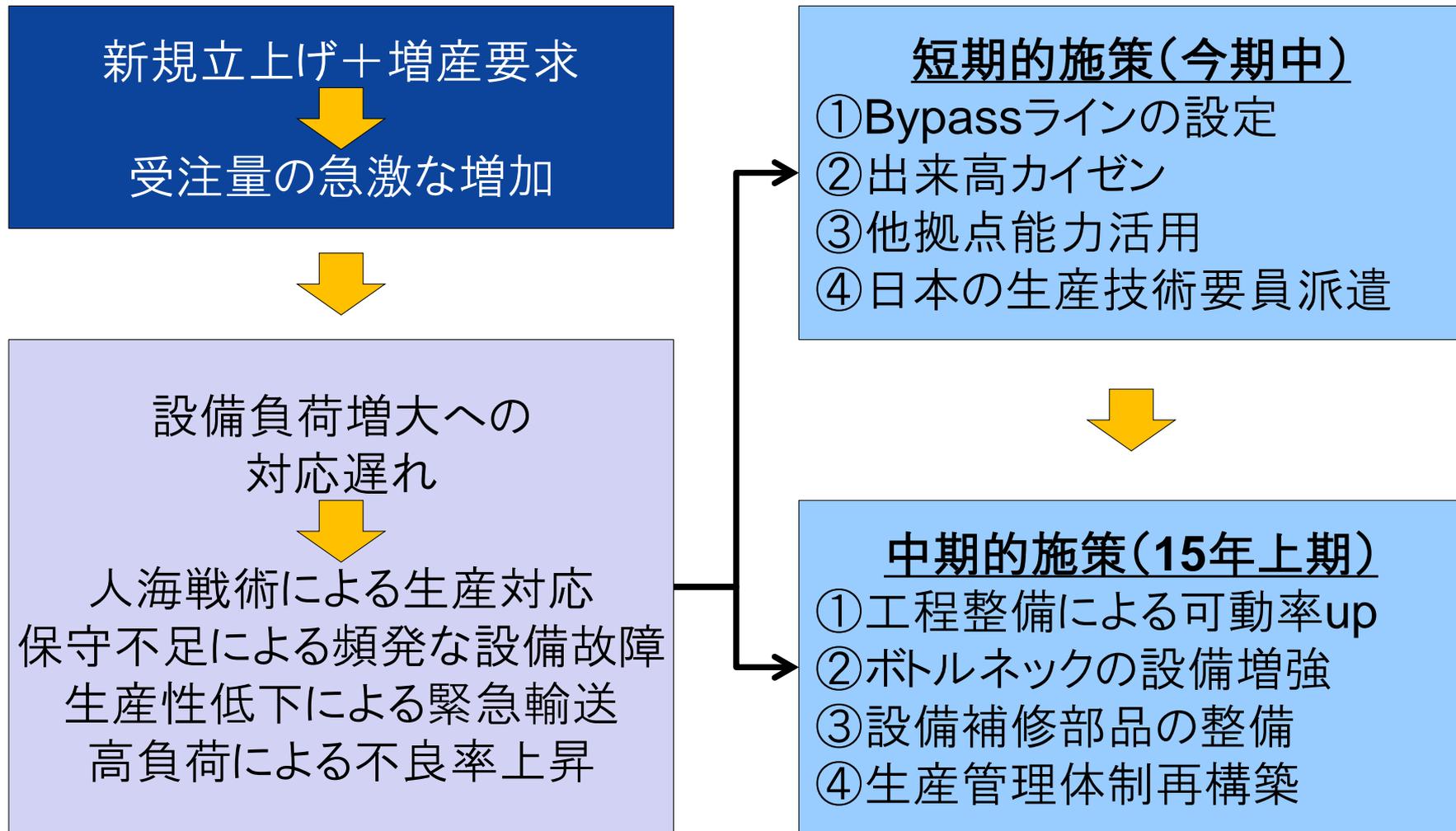
3Q以降急激に上昇



- ① 第3四半期から急激に受注量が増加
(昨年以上の増産に加え、新規受注の積上げ-ABEだけで19品目-が大きい)
- ② 7月に設備機械の補修保守出来ず
(例年客先の夏季shutdown期間に保守)
- ③ 人員も昨年平均より23%増加
(9月時点で、合計1,650人を超え、部品の1工場としては大規模)

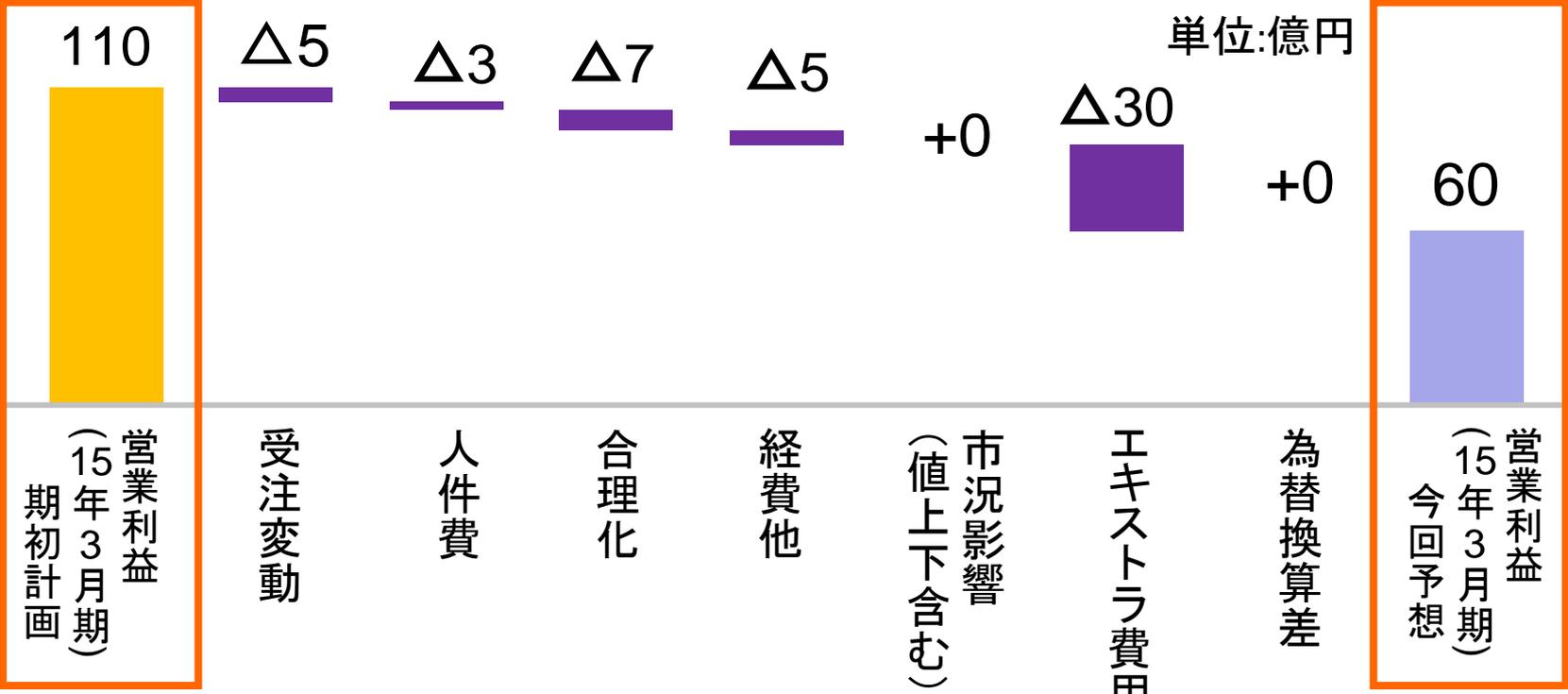
ABE生産問題の原因と対策

原因の分析と短期的・中期的施策



2015年3月期: 営業利益増減分析(対期初計画差)

受注減及びエキストラ費用の増加により、営業利益60億円の予想



日本	45	Δ 1			+1	Δ 1			44
米国	24		Δ 2	Δ 5	Δ 5	+2	Δ 30		Δ 16
メキシコ	Δ 3	Δ 1	Δ 2		+1				Δ 5
欧州	Δ 2	Δ 1	+2	Δ 1	Δ 2	Δ 2			Δ 6
アジア	44	Δ 2	Δ 1	Δ 1		+1		+0	41
連結消去	2								2

※エキストラ費用:米国(ABE Plant)の過度な生産負荷に経費の増加分(人件費Δ14、輸送費Δ8、修繕費Δ3、スクラップΔ2、その他Δ3)

当初施策の進捗状況

日本

		施策	内容	現状
1	日本	補修品事業体制強化	1.国内体制強化 2.品揃えの充実 3.小売り現場活性化 4.大口客先開拓	計画どおり 計画の確実な達成に向け、継続実施中
2		不採算ビジネスの収益改善	1.個別損益把握 2.仕様・買い方見直し	遅れ 案件の早期刈取りと他アイテムへの横展開を継続実施中
3		人員の適正化	1.受注予測の精度向上 2.間接業務のムダの洗い出し	14年3月末3,915名 14年9月末3,831名(△84名) 生産に応じた人員の適正化の継続実施
4		経費の削減	1.間接業務の効率化 2.業務委託の内製化	遅れ

当初施策の進捗状況

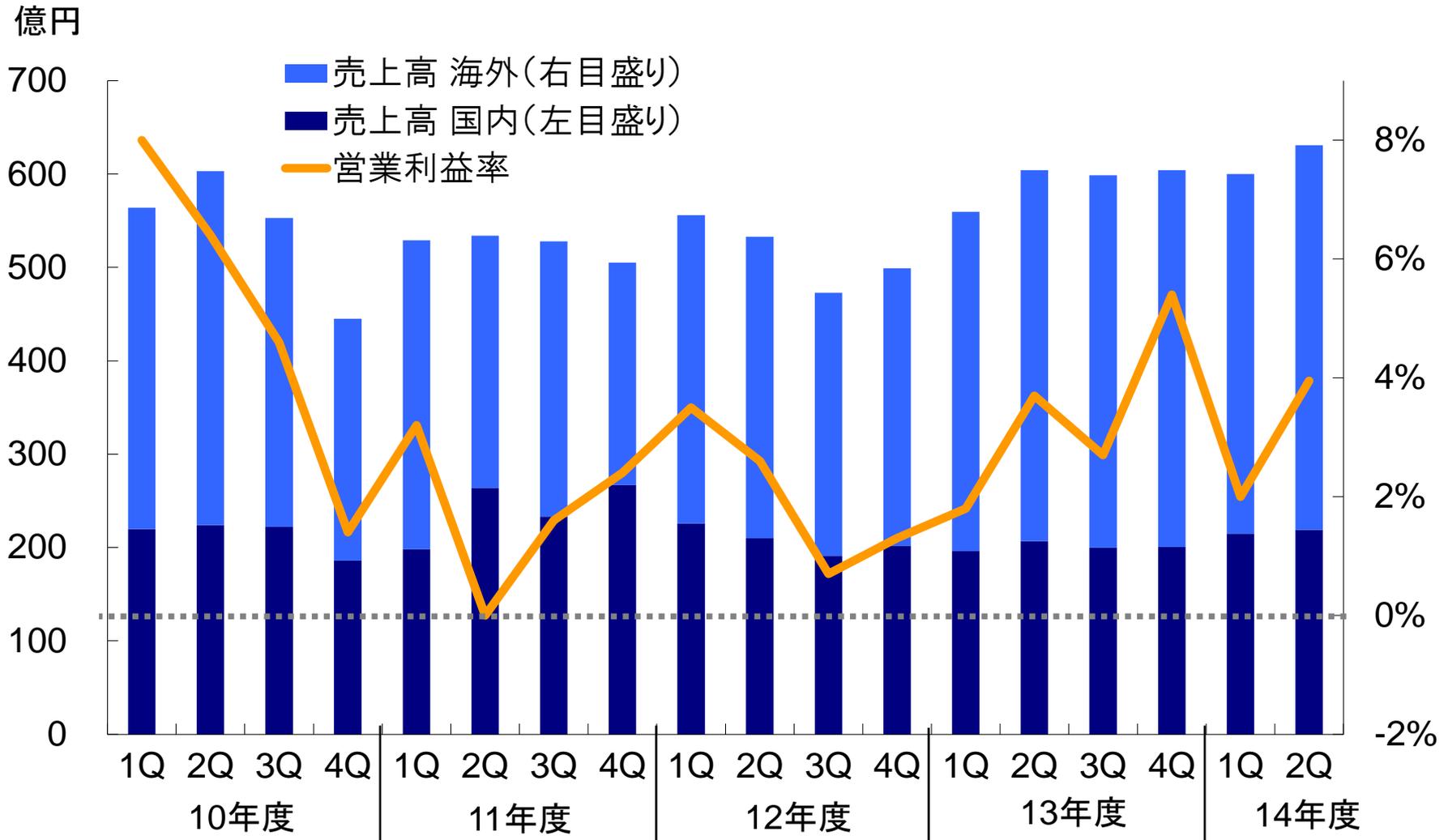
北米・欧州

		施策	内容	現状
5	北米	新規受注案件の確実な立上げ	1.不採算製品から収益性のある製品への転換 2.日米欧完成車メーカーからの新規アイテムの確実な立上げ	1.計画どおり 2.ABE Plantにおいて、生産ラインの負荷が過度に高くなり、生産性悪化による損失が発生
6		販売価格の改定	鋳物値上げ分の販売価格への転嫁	計画どおり(一部折衝中)
7		メキシコを含めた生産区分の見直し・生産体制の最適化	1.メキシコ工場の確実な立上げ 2.アルミ・摩擦材工程の集約化 3.増産対応	1. 計画どおり(生産量は未達) 2. 進行中 3. ABE以外はほぼ計画どおり
8	欧州	販売価格の改定	不採算ビジネスの販売価格見直し	上期 計画どおり 下期 継続折衝中
9		固定費及び経費の削減	既存摩擦材工場の再構築による生産合理化	計画どおり。但し、本年度より開始したキャリパービジネスに係る費用が増加

添付資料

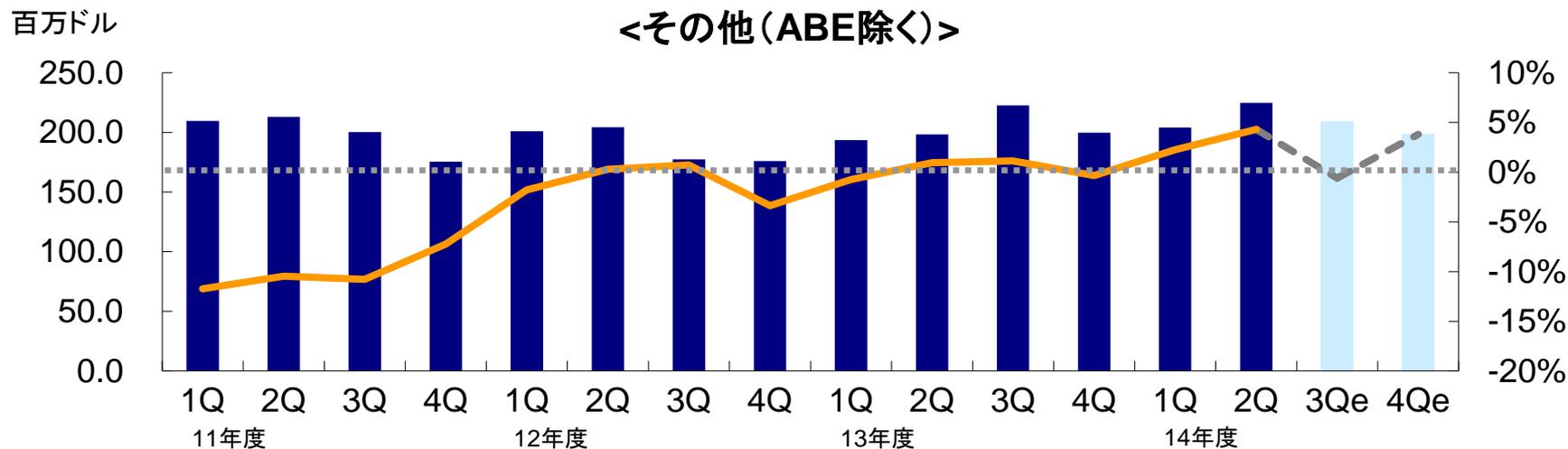
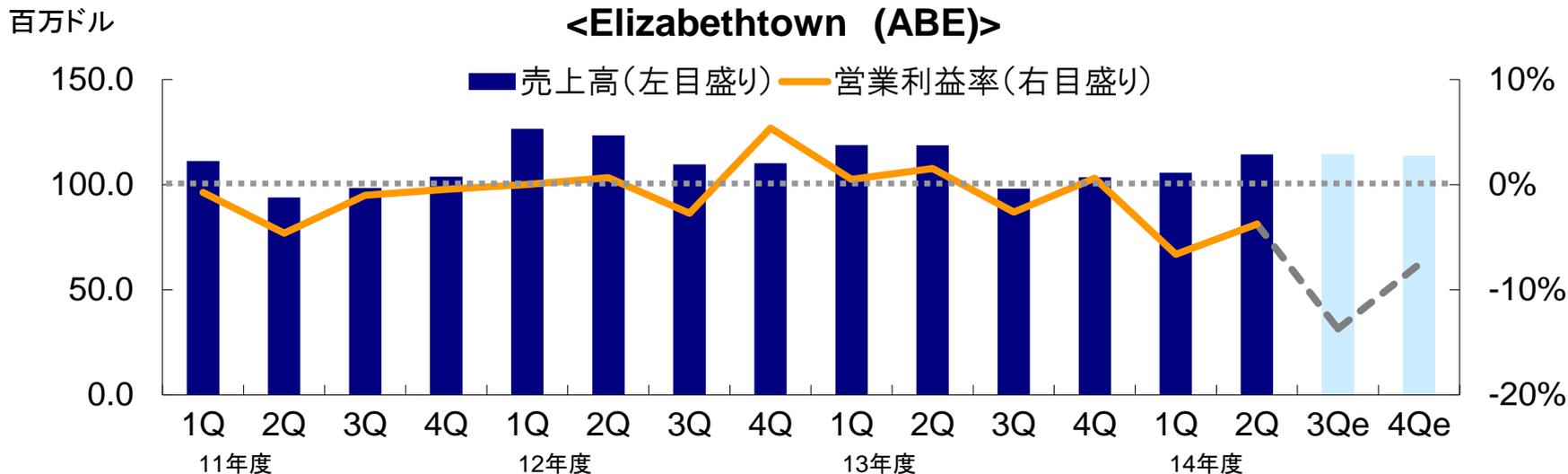
(参考1) 売上高と営業利益率のトレンド(連結)

四半期毎の売上高と営業利益率



(参考3) 北米の拠点別売上高と営業利益率の推移

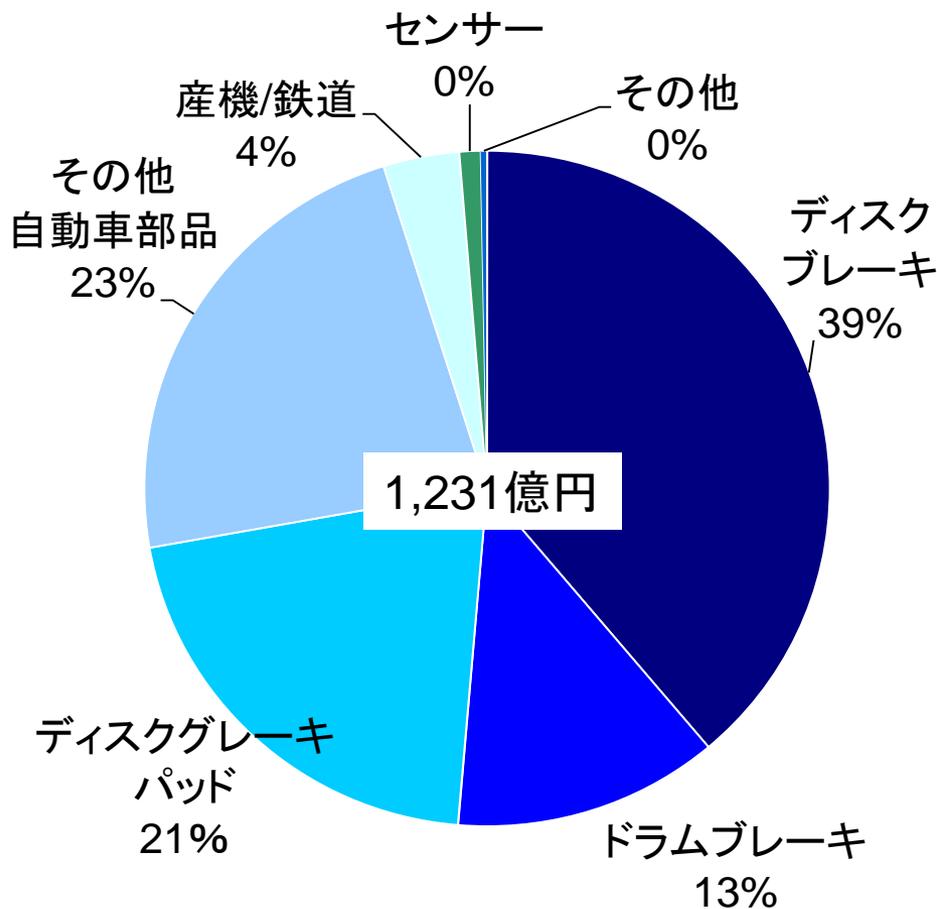
四半期毎の売上高と営業利益率



(参考4) 製品別 売上高

ディスクブレーキ、ディスクブレーキパッドが若干の増加

＜2015年3月期上期実績＞



	14年 3月期 上期	15年 3月期 上期
ディスクブレーキ	37%	39%
ドラムブレーキ	14%	13%
ディスクブレーキパッド	19%	21%
その他自動車部品	25%	23%
産機/鉄道	4%	4%
センサー	1%	0%
その他	0%	0%
合計	100%	100%

(参考5) 地域別推移(現地通貨ベース)

中国・インドネシアで収益拡大

<現地通貨ベース>	売上高			営業利益		
	'14/3上期	'15/3上期	'13vs'14	'14/3上期	'15/3上期	'13vs'14
	実績	実績	前年差	実績	実績	前年差
米国: \$ mil.	629	649	20	3	3	△ 0
メキシコ: \$ mil.	0	1	1	0	△ 2	△ 2
欧州: EUR mil.	24	30	6	△ 2	△ 2	0
中国: CNY mil.	264	385	121	27	51	24
タイ: THB mil.	1,076	826	△ 250	102	41	△ 61
インドネシア: IDR bil.	812	954	142	109	126	17

<為替レート>	'14/3上期	'15/3上期	'13vs'14
	実績	実績	変化率
USD	95.9	102.2	+7%
EUR	130.1	138.6	+7%
CNY	15.5	16.6	+7%
THB	3.2	3.1	△3%
IDR	0.0099	0.0088	△11%

(参考6) 地域別の業績予想(上期実績・下期予想)

各地域の実績(上期)と予想(下期)

単位: 億円	売上高		
	上期実績	下期予想	通期
日本	434	432	866
米国	663	688	1,351
メキシコ	1	3	4
欧州	42	53	95
中国	64	80	144
タイ	26	28	54
インドネシア	84	82	166
アジア	174	190	364
連結消去	△ 83	△ 83	△ 166
合計	1,231	1,283	2,514

営業利益		
上期実績	下期予想	通期
16	28	44
3	△ 19	△ 16
△ 2	△ 3	△ 5
△ 2	△ 4	△ 6
8	9	17
1	2	3
11	10	21
21	20	41
2	0	2
37	23	60

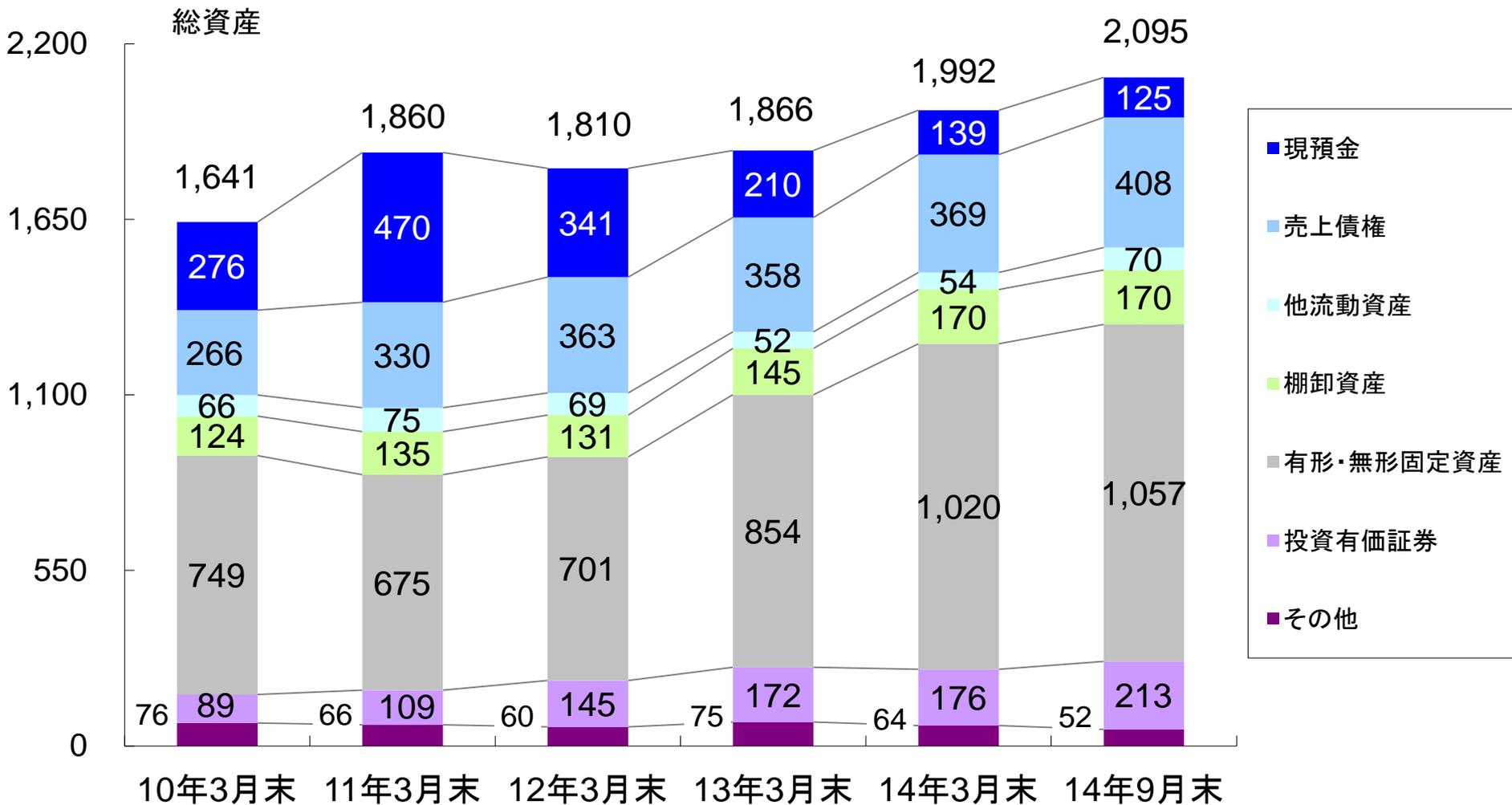
現地通貨ベース	売上高		
	上期実績	下期予想	通期
米国: \$ mil.	649	641	1,290
メキシコ: \$ mil.	1	3	4
欧州: EUR mil.	30	38	69
中国: CNY mil.	385	462	847
タイ: THB mil.	826	862	1,688
インドネシア: IDR bil.	954	911	1,865

営業利益		
上期実績	下期予想	通期
3	△ 18	△ 15
△ 2	△ 2	△ 5
△ 2	△ 3	△ 4
51	49	100
41	52	94
126	110	236

(参考7) 貸借対照表

資産の部

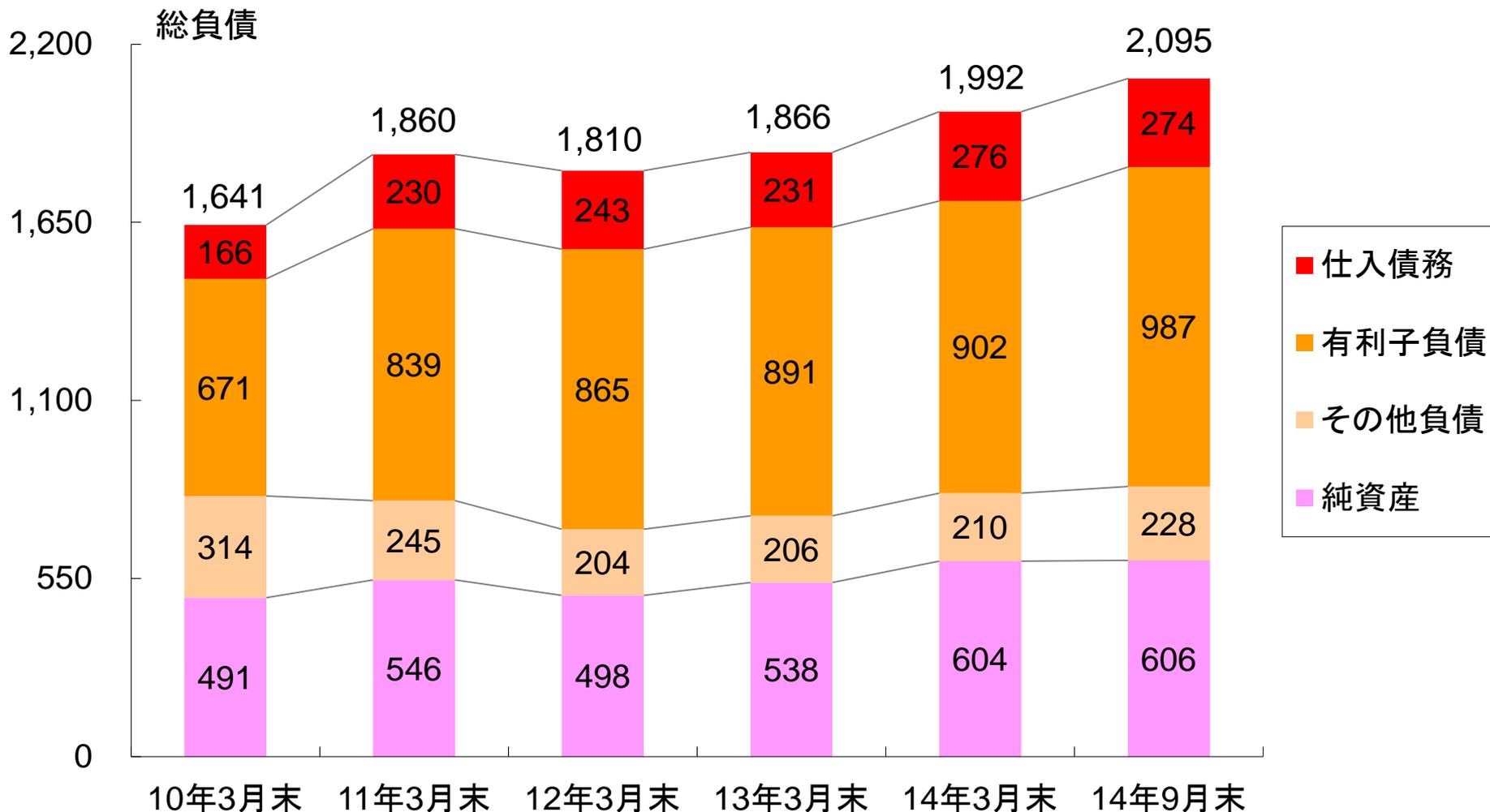
単位: 億円



(参考8) 貸借対照表

負債・純資産の部

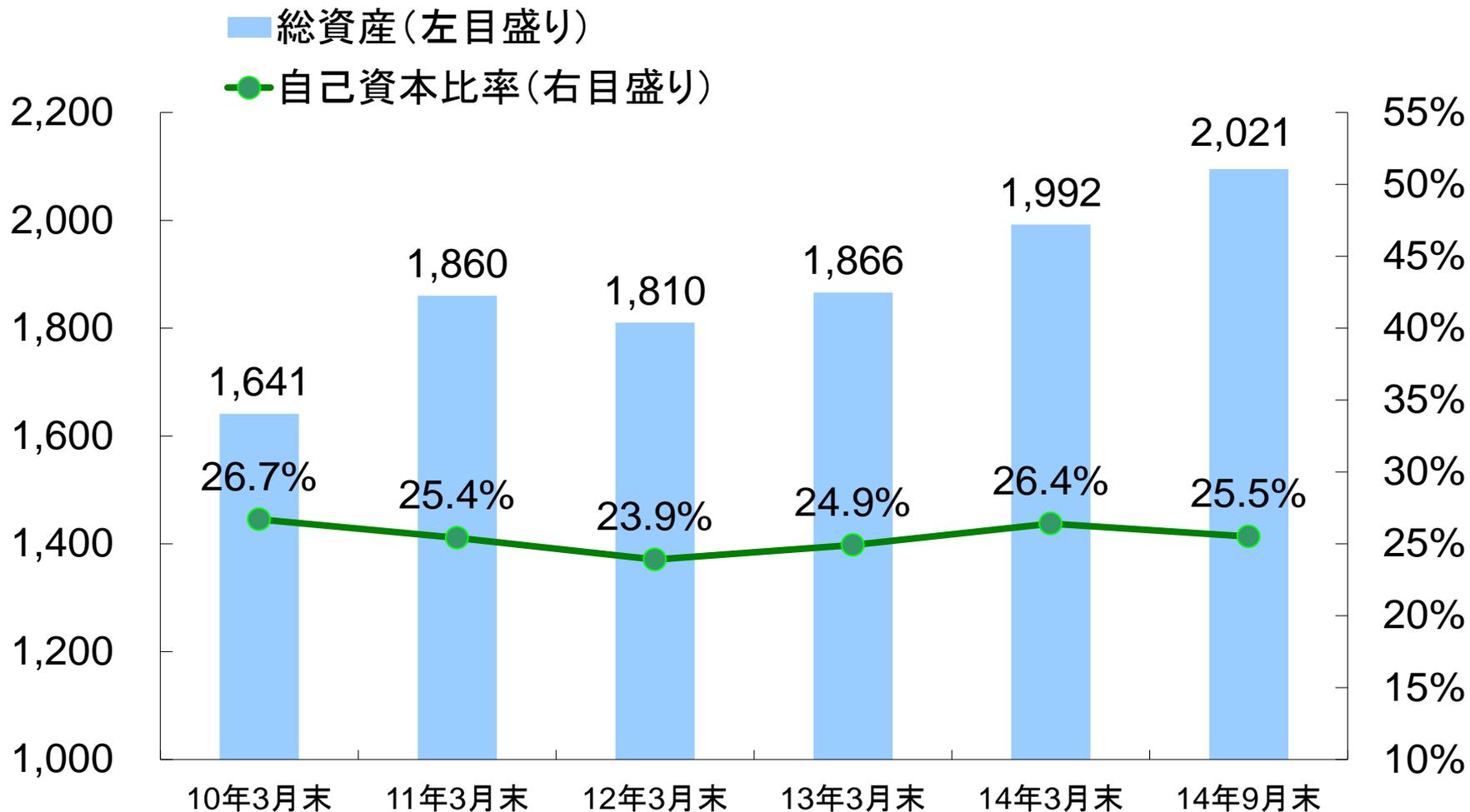
単位: 億円



(参考9) 総資産/自己資本比率

自己資本比率は若干低下

単位: 億円

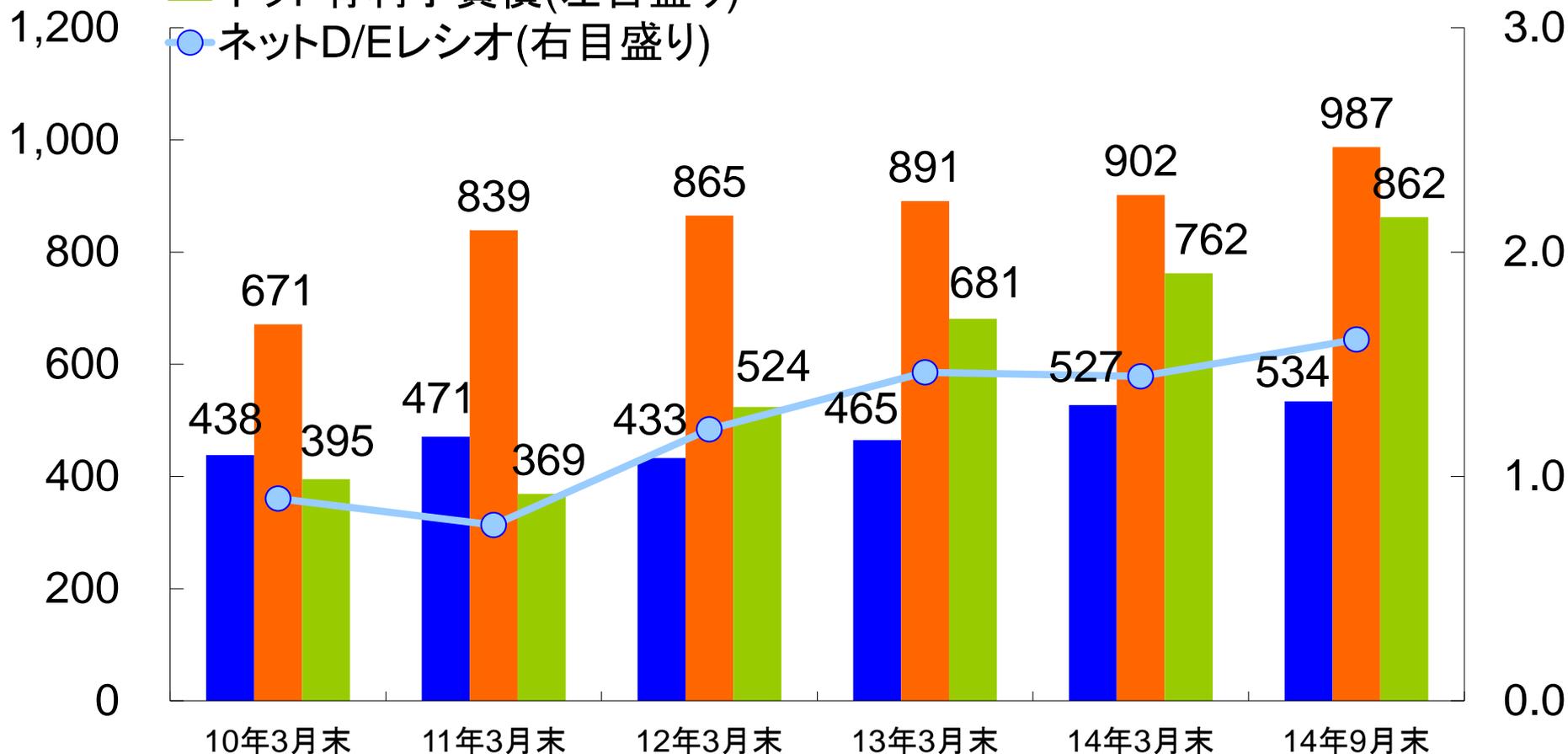


(参考10) 自己資本/有利子負債の推移

ネットDEレシオは1.6

- 自己資本(左目盛り)
- 有利子負債(左目盛り)
- ネット有利子負債(左目盛り)
- ネットD/Eレシオ(右目盛り)

単位:億円



(参考11) 自己資本利益率ROEの推移

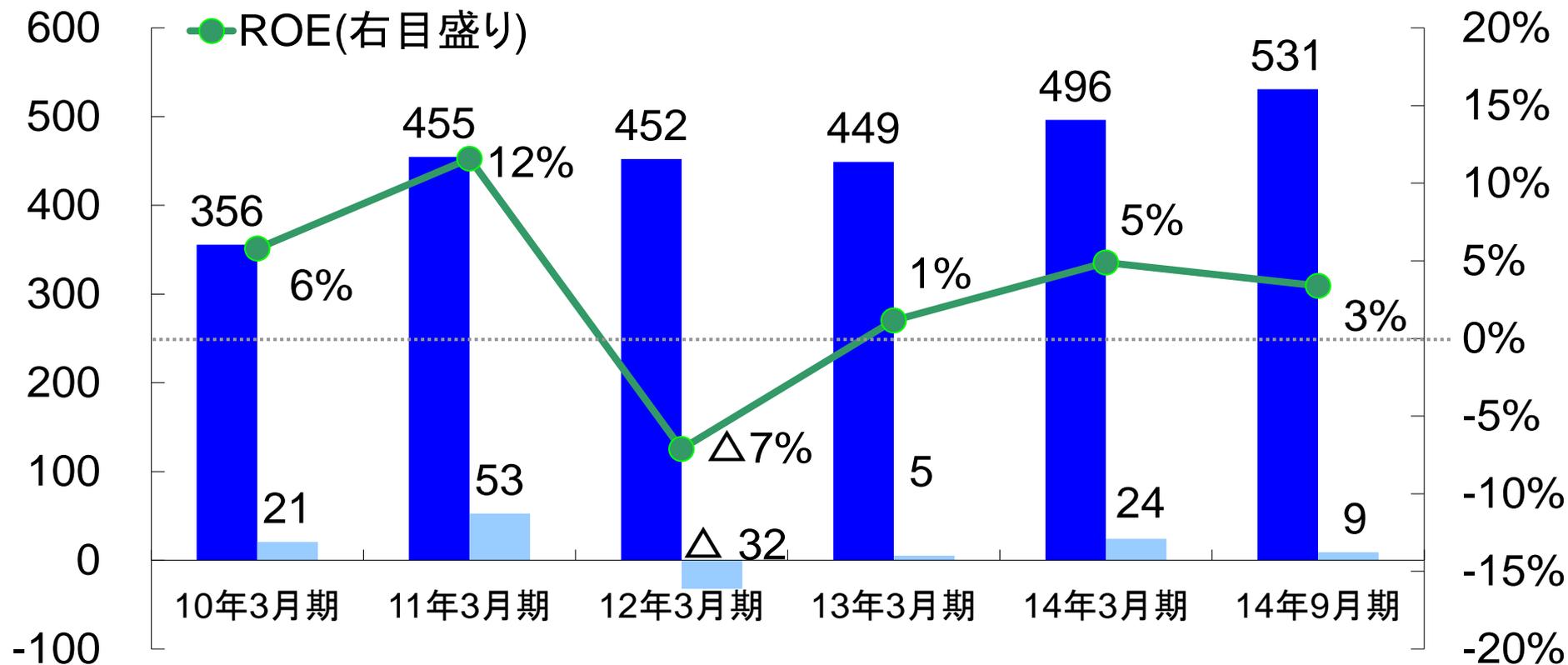
ROEは3%

■ 自己資本平均(左目盛り)

■ 当期(四半期)純利益(左目盛り)

● ROE(右目盛り)

単位: 億円



※ROEは便宜的に上期純利益を2倍にしております

業績見込み等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた予測であり、実際の業績は当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因によりこれらの記述とは大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。